【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【公開番号】特開2016-104667(P2016-104667A)
【公開日】平成28年6月9日(2016.6.9)
【年通号数】公開・登録公報2016-035
【出願番号】特願2015-241124(P2015-241124)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　29/58　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/23　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　29/60　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　29/58　Ｂ
Ｇ０３Ｇ　15/23
Ｂ６５Ｈ　29/60　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成28年11月11日(2016.11.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
シートに画像を形成する画像形成部と、
シートに形成された前記画像を加熱して前記画像をシートに定着する定着部と、
前記定着部で定着処理されたシートが積載される積載部と、
前記定着部で定着処理されたシートを搬送する搬送部であって、第１方向及び前記第１方向と逆方向である第２方向に回転可能に構成された第１ローラと、前記第１ローラと共にシートを搬送する第１ニップ部を形成し、前記第１ローラが前記第１方向に回転することによって前記第１ニップ部においてシートを前記積載部に排出する第２ローラと、前記第１ローラと共にシートを搬送する第２ニップ部を形成し、前記第１ローラが前記第２方向に回転した後に前記第１方向に回転することによって、前記第２ニップ部において第１の面に画像が形成されたシートの前記第１の面と反対側の第２の面に画像を形成するためにシートを前記画像形成部へ向けて搬送する第３ローラと、を有する搬送部と、
前記第１ニップ部におけるシートの前記積載部への排出方向において前記第１ニップ部の出口側を塞ぐ位置である規制位置と、前記規制位置から退避した位置であって前記第１ニップ部の出口側を開放する位置である退避位置と、の間を移動可能に構成された規制部と、
前記第１ローラの回転方向と、前記規制部の移動と、を制御する制御部と、
を有する画像形成装置において、
前記制御部は、前記規制部が、前記第１ローラが前記第１方向に回転している場合は前記退避位置にあり、前記第１ローラが前記第２方向に回転している場合は前記規制位置にあるように制御することを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
シートに画像を形成する画像形成部と、
シートに形成された前記画像を加熱して前記画像をシートに定着する定着部と、
前記定着部で定着処理されたシートが積載される積載部と、

前記定着部で定着処理されたシートを搬送する搬送部であって、第１方向及び前記第１方向と逆方向である第２方向に回転可能に構成された第１ローラと、前記第１ローラと共にシートを搬送する第１ニップ部を形成し、前記第１ローラが前記第１方向に回転することによって前記第１ニップ部においてシートを前記積載部に排出する第２ローラと、前記第１ローラと共にシートを搬送する第２ニップ部を形成し、前記第１ローラが前記第２方向に回転した後に前記第１方向に回転することによって、前記第２ニップ部において第１の面に画像が形成されたシートの前記第１の面と反対側の第２の面に画像を形成するためにシートを前記画像形成部へ向けて搬送する第３ローラと、を有する搬送部と、
前記積載部に積載されたシートが前記第１ニップ部に進入しないように規制する位置である規制位置と、前記規制位置から退避した位置であって前記第１ニップ部でシートが前記積載部へ排出されることを許容する位置である退避位置と、の間を移動可能に構成された規制部と、
前記第１ローラの回転方向と、前記規制部の移動と、を制御する制御部と、
を有する画像形成装置において、
前記制御部は、前記規制部が、前記第１ローラが前記第１方向に回転している場合は前記退避位置にあり、前記第１ローラが前記第２方向に回転している場合は前記規制位置にあるように制御することを特徴とする画像形成装置。
【請求項３】
前記制御部は、前記第１ローラの回転方向を切り替える動作に連動して、前記規制部を移動させることを特徴とする請求項１又は２に記載の画像形成装置。
【請求項４】
前記画像形成部において前記画像が形成されたシートを前記１ニップ部へガイドする第１位置と、前記画像が形成されたシートを前記第２ニップ部へガイドする第２位置と、の間を移動可能に構成されたガイド部を有する請求項１～３のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【請求項５】
前記規制部は、前記ガイド部と一体的に移動することを特徴とする請求項４に記載の画像形成装置。
【請求項６】
前記規制部と、前記ガイド部と、は同軸線上で回転することを特徴とする請求項４又は５のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明の一つの側面は、シートに画像を形成する画像形成部と、シートに形成された前記画像を加熱して前記画像をシートに定着する定着部と、前記定着部で定着処理されたシートが積載される積載部と、前記定着部で定着処理されたシートを搬送する搬送部であって、第１方向及び前記第１方向と逆方向である第２方向に回転可能に構成された第１ローラと、前記第１ローラと共にシートを搬送する第１ニップ部を形成し、前記第１ローラが前記第１方向に回転することによって前記第１ニップ部においてシートを前記積載部に排出する第２ローラと、前記第１ローラと共にシートを搬送する第２ニップ部を形成し、前記第１ローラが前記第２方向に回転した後に前記第１方向に回転することによって、前記第２ニップ部において第１の面に画像が形成されたシートの前記第１の面と反対側の第２の面に画像を形成するためにシートを前記画像形成部へ向けて搬送する第３ローラと、を有する搬送部と、前記第１ニップ部におけるシートの前記積載部への排出方向において前記第１ニップ部の出口側を塞ぐ位置である規制位置と、前記規制位置から退避した位置であって前記第１ニップ部の出口側を開放する位置である退避位置と、の間を移動可能に構

成された規制部と、前記第１ローラの回転方向と、前記規制部の移動と、を制御する制御部と、を有する画像形成装置において、前記制御部は、前記規制部が、前記第１ローラが前記第１方向に回転している場合は前記退避位置にあり、前記第１ローラが前記第２方向に回転している場合は前記規制位置にあるように制御することを特徴とする。

本発明の２つ目の側面は、シートに画像を形成する画像形成部と、シートに形成された前記画像を加熱して前記画像をシートに定着する定着部と、前記定着部で定着処理されたシートが積載される積載部と、前記定着部で定着処理されたシートを搬送する搬送部であって、第１方向及び前記第１方向と逆方向である第２方向に回転可能に構成された第１ローラと、前記第１ローラと共にシートを搬送する第１ニップ部を形成し、前記第１ローラが前記第１方向に回転することによって前記第１ニップ部においてシートを前記積載部に排出する第２ローラと、前記第１ローラと共にシートを搬送する第２ニップ部を形成し、前記第１ローラが前記第２方向に回転した後に前記第１方向に回転することによって、前記第２ニップ部において第１の面に画像が形成されたシートの前記第１の面と反対側の第２の面に画像を形成するためにシートを前記画像形成部へ向けて搬送する第３ローラと、を有する搬送部と、前記積載部に積載されたシートが前記第１ニップ部に進入しないように規制する位置である規制位置と、前記規制位置から退避した位置であって前記第１ニップ部でシートが前記積載部へ排出されることを許容する位置である退避位置と、の間を移動可能に構成された規制部と、前記第１ローラの回転方向と、前記規制部の移動と、を制御する制御部と、を有する画像形成装置において、前記制御部は、前記規制部が、前記第１ローラが前記第１方向に回転している場合は前記退避位置にあり、前記第１ローラが前記第２方向に回転している場合は前記規制位置にあるように制御することを特徴とする。